



125th
Anniversary
since 1900

漢文

アニメ

国際

で
大喜利
すると

—典拠を踏まえるオマージュの世界—

相模女子大学日本学国際研究所と学ぶ・知る・考える

vol.1

2024. **9.29(日)** 14:00~15:30 (開場13:40~)

紀伊國屋書店新宿本店3Fアカデミック・ラウンジ

参加方法

先着40名 参加無料

事前に二次元コードよりお申し込みをお願いいたします。
(ご予約なしのお客様も立ち見にてご参加いただけます。)



「漢文・アニメ・国際」で大喜利すると一典拠を踏まえるオマージュの世界ー

こんにちは。相模女子大学日本学国際研究所 所長の山田です。見るからに無理難題な三題噺をせよ、というテーマを担当いたします！

いま日本が世界に発信しているアニメを扱うとなると、仲間はずれが「漢文」であることは明らかです。「漢文」は「アニメ」・「国際」とどのように切り結ぶのでしょうか。

とはいえ、『水滸伝』や『西遊記』といった「作品」を研究対象とするわけではありません。今回は、漢文の「書き方」のみでこのテーマに取り組んでみましょう。漢文には「書き方の作法」があります。それは「典拠を踏まえる」という作法で、過去の作品の一部を模倣しながら書くということです。ですので、漢文は「オリジナル」であることが減点となるのです。今とは正反対ですよ。

正反対なのですが、本当に「今と昔では、たいそう違っていているなあ」なのでしょうか。現存する日本最古の『古事記』(712年)から続くこの国の文学史が1300年に及ぶ不変の「典拠文学」であることを報告いたします。もちろん、その1300年には現代アニメが含まれます。もう若くはないので最新アニメまでは追いつけません、それでも2023年公開の作品までは行けたらいいなと思っています。

登壇者

山田 純

相模女子大学学芸学部日本語日本文学教授
相模女子大学日本学国際研究所所長



1977年6月生まれ。千葉県出身。

明治大学大学院で博士号を取得後、白百合女子大学・フェリス学院大学・大東文化大学・明治大学等の非常勤講師を経て、現職。主要業績に『日本書紀典拠論』(2018年5月 新典社)がある。

初めまして、山田です。名の「純」は、6月生まれだから、Juneなのだ、と父親から聞かされてきました。誇らしく感じておりました。姉は7月生まれなのに「ジュリ」でなかった点だけが「？」でした。大人になりコンビニで「宝焼酎 純」というお酒を発見しました。私が生まれた日は、この焼酎の発売日でした。それゆえの純だ、というのが真実でしょう。父の家業は酒屋で、出生の日は発売記念パーティーで不在でした。間違いありません。がっくりしました。その後、我が家で犬を飼うことになりました。その犬は5月に生まれたので、メイと名付けられました。犬と同じ名前基準の山田です。奈良時代文学を研究しています。よろしくお願いいたします。

相模女子大学日本学国際研究所とは…

相模女子大学は、学術研究の拡充と活性化、さらにその成果を国内外に発信する拠点として、2024年4月に相模女子大学日本学国際研究所を開設しました。

本学には人文科学系・社会科学系・自然科学系の教員が在籍し、その研究領域も多岐にわたっており、幅広い研究が豊富に蓄積されています。異なる観点を持つ研究者を多く擁した本学ならではの特性を活かしながら、「日本」を海外からの視点を交えて見つめることで、日本研究の新たな意義を見つけ、国際的な研究を推進します。同時に、研究成果を世界にあまねく発信することによって、本学が注力してきた社会貢献活動にも寄与できると考えます。

世界の側に立った視点で日本を見つめ、日本の立場に立って見えない日本を見つける、本研究所の成果にどうぞご期待ください。

